

# カキ生育情報

千葉県  
令和元年9月臨時号

令和元年9月9日に千葉県を通過した台風15号により、県内のカキ樹は大きな被害を受けました。落葉が激しい樹については、程度に応じて早急に2～4割の摘果を行いましょう。また、たんそ病の多発を防ぐために薬剤散布を行いましょう。

## 1 令和元年9月の台風15号について

令和元年9月の台風15号は、9日未明に過去最強クラスの勢力で関東地方に接近・通過し、千葉市では最大瞬間風速57.5m/sを記録しました。この台風により、県内のカキ樹は落葉、果実の擦れ、枝折れ、枝裂け、樹の倒伏など大きな被害を受けました。

## 2 カキ樹に対する影響について

この台風により、今後カキ樹に以下の影響が生じる可能性があります。

- (1) 落葉した樹の果実は急速に着色が進むが、最終的にはきれいな紅色にはならない。
- (2) 果実の肥大が例年より劣る。また、糖度はある程度までは上昇するが、品質は例年より低くなる。
- (3) 強い風雨によりたんそ病菌が飛散し、発病が多発する。
- (4) 来年の樹勢が低下する。また、花芽や花蕾が減少する。

## 3 今後の対策について

被害を受けた樹については、以下の対策を行いましょう。

- (1) 早急に摘果を行う。摘果の程度は30%落葉した樹は2割程度、50%落葉した樹は3割程度、70%落葉した樹は4割程度とする。ただし、全摘果は翌年に栄養生長が旺盛となりすぎて生理落果率が高くなる可能性があるため、行わない。摘果は傷果など、商品価値が低いものから優先して取り除く。
- (2) たんそ病の多発園では早急にトップジンM水和剤またはベルコート水和剤などの殺菌剤を散布し、病気の発生を最小限にとどめる。薬剤の濃度は通常よりやや低めとする。ただし、ベルコート水和剤は「西村早生」には薬害が生じやすいので注意する。
- (3) 倒れた樹はなるべく早く起こし、土寄せして支柱をそえる。枝の折れたところは平滑に切り、トップジンMペーストなどの保護剤を塗布する。
- (4) 果実品質の低下が懸念されるため、販売は品質を確認した後に行う。
- (5) 落葉が激しかった樹は、冬季の剪定をできるだけ軽くし、樹勢の回復を図る。
- (6) 窒素肥料の施用はすぐには行わない。また、元肥の施用も例年より少なめとする。

### 《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>